

# GINGA REPORT 401

No. 106  
2024.3

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和6年3月1日  
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム  
電話：059-355-2700

## 3月の星空

星図：ステラナビゲータ11/(株)アストロアーツ

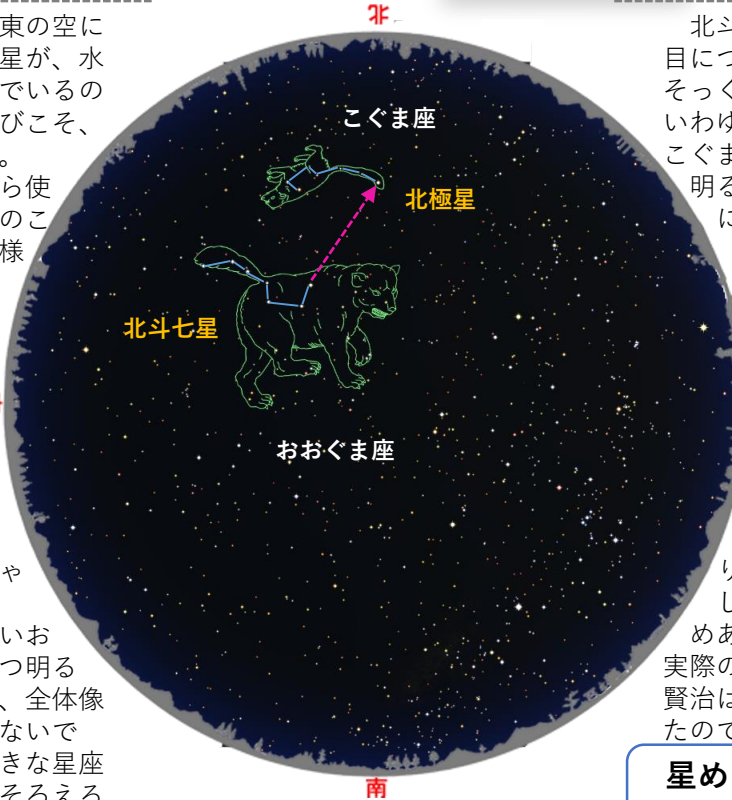
### 北斗のひしゃくは熊の姿

春先の夜のはじめごろ、北東の空に目を向けると、7個の明るい星が、水を汲むひしゃくのように並んでいるのが見つかります。この星の並びこそ、誰もがよく知る北斗七星です。

北斗の斗は、中国で古くから使われてきた酒などををはかる斛のことで、7個の星が並んでいる様子が柄のついたその器に似ていることから名づけられたものです。日本でもひしゃく星と呼ばれています。

その一方で、北斗七星とその周囲の星を、北の空をめぐる大きなクマの姿と見たてる地域も多数存在しました。北斗七星のひしゃくの水を汲む部分がクマのお尻で、ひしゃくの柄がクマのしっぽです。

北斗七星以外は暗い星が多いおおぐま座ですが、つま先に二つ明るさの似た星が並んでいるため、全体像のイメージはしやすいのではないのでしょうか。全天で3番目に大きな星座のわりに、お上品につま先をそろえる姿は、ギャップがありますね。



3月15日21時の星図

### 北斗七星のそっくりさん

北斗七星は夜空でもみつけやすく、目につきますが、そんな北斗七星をそっくりそのまま小さくしたような、いわゆる小びしゃくのような星並びをこぐま座といいます。大びしゃくほど明るくはないものの、意外によく目につきます。

そんなこぐまの尾の先で輝く2等の星が、真北の空にじっと輝いて北の方角を教えてくれる北極星です。北極星を北斗七星から探す方法は小学校の4年生で習います。ひしゃくの先を5倍伸ばした先に見つけることができるというもので、昔からよく知られていました。

しかし、宮沢賢治の「星めぐりの歌」では、おおぐま座の“あし”から北極星（そらのめぐりのめあて）を見つけると歌っています。実際の探し方とは異なりますが、宮沢賢治はどのように星座を思い描いていたのでしょうか。

**星めぐりの歌**  
宮沢賢治

大ぐまのあしをきたに  
五つのばしたところ。  
小熊のひたいのうへは  
そらのめぐりのめあて。

## 宇宙塾～天文楽（がく）しませんか？

### 近年活発な太陽活動を知る

近年の太陽は、極大期と呼ばれる活動が活発な時期を迎えていると考えられています。日本の太陽研究の第一人者である前原裕之先生に、身近な天体でありながら謎の多い太陽について、お話ししていただきます。

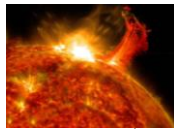
【日時】3月23日(土)18:20~20:00

【場所】四日市市立博物館5階  
GINGA PORT 401(プラネタリウム)

【定員】140人

【料金】無料 ※当日9:30から1階総合受付で座席券を  
発券します(1人につき1席分まで)

【講師】国立天文台ハワイ観測所岡山分室助教 前原裕之



Credits: NASA/SDO

## 開館30周年記念 天文学芸員と星空散歩3

おすすめの星座や天体を天文学芸員がみっちりと解説する、フル生解説のイベントです。  
天気が良ければ、これらの星座や天体を屋上にて観望します。

【日時】3月30日(土) 18:20~20:00

(19:15からは屋上観望会)

【場所】四日市市立博物館5階  
GINGA PORT 401(プラネタリウム)

【定員】40人

【料金】大人550円、高大生390円、小中生210円、幼児無料

※座席券は当日券のみです。

開館時刻の9:30から18:20まで販売します。

(完売した時点で終了します)

## 博物館主催 スターウォッチング 中止

3月23日(土) 3月24日(日)

11:00~13:00

きらら号スターウォッチングは市民公園の工事のため中止といたします。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、今後のきらら号スターウォッチングについては、当館ホームページ及びFacebookで発信します。



## 編集後記

おおぐま座とこぐま座は熊にしては尻尾が長いのですが、これには理由があります。

ギリシャ神話では、2つの星座が天に上げられるときに、神様が尻尾を掴んで投げたので尻尾の部分が長く伸びてしまったと言われています。実際の動物とは異なる姿だからこそ、その理由を知れば、まだまだ寒さが残る3月の夜でも、星を見るのが楽しくなるかもしれません。

## 3月の月

4日  下弦

10日  新月

17日  上弦

25日  満月